

### 資料 3

## ADL によるテスト項目実施のスクリーニングに関する判定基準

### 【スクリーニング項目】

問	内 容	回答状況および判定
1	休まないで、どれくらい歩けますか。 ① 5～10分程度 ② 20～40分程度 ③ 1時間以上	問 1、5 及び 6 において①に回答した場合 ⇒⇒ 6分間歩行、10m 障害物歩行及び開眼片足立ちテストは実施不可能 その他のテスト項目の実施についても慎重な検討を要する
5	正座の姿勢からどのようにして、立ち上がれますか。 ①できない ②手を床についてなら立ち上がれる ③手を使わずに立ち上がれる	
6	目を開けて片足で、何秒くらい立っていられますか。 ①できない ② 10～20秒程度 ③ 30秒以上	
3	どれくらいの幅の溝だったら、とび越えられますか。 ① できない ② 30cm程度 ③ 50cm程度	
4	階段をどのようにして昇りますか。 ①手すりや壁につかまらなと昇れない ②ゆっくりなら、手すりや壁につかまらずに昇れる ③サッサと楽に、手すりや壁につかまらずに昇れる	
10	布団の上げ下ろしができますか。 ①できない ②毛布や軽い布団ならできる ③重い布団でも楽にできる	
12	仰向けに寝た姿勢から、手を使わないで、上体だけを起こせますか。 ①できない ② 1～2回程度 ③ 3～4回以上	問 10 及び 12 において①に回答した場合 ⇒⇒上体起こしテストは実施不可能
2	休まないで、どれくらい走れますか。 ①走れない ② 3～5分程度 ③ 10分以上	
11	どれくらいの重さの荷物なら、10m 運べますか。 ①できない ② 5kg程度 ③ 10kg程度	問 2 及び 11 において③と回答した場合 ⇒⇒特別な障害がない限り全てのテスト項目について実施可能

【総合得点によるテスト実施のスクリーニング】\*全設問に回答(無回答なし)の場合に利用各設問とも、①に回答の場合は1点、②は2点、③は3点として合計し、総合得点とする。

総合得点	回答状況	判定	判定に関する条件
12点以下	全ての設問において①に回答	×	6分間歩行、上体起こし、開眼片足立ち及び10m 障害物歩行は実施不可能
24点未満	設問によっては回答②あるいは、回答③も含まれる。	△	6分間歩行、上体起こし及び10m 障害物歩行テストの実施について慎重な検討を要する。特に、問1、5及び6の回答に注意する。被測定者の状態により、それ以外のテスト項目の実施についても慎重な検討を要する。
24点以上	ほぼ全ての設問において回答②以上に回答する。 設問によっては回答①あるいは、回答③も含まれる。	○	特別な障害がない限り全てのテスト項目について実施可能 ただし、問1、3、4、5、6において回答①が含まれる場合、実施可能テスト項目について慎重な検討を要する。